

広報担当が聞く!

教えて! 村長さん



就任から1年半。
見えてきた村の課題とチャンス!

今回は、太田村長が村長に就任して1年半が経過したということから、これまでの村政の振り返りと今後の展望をお伝えします。

Q 村の明るい変化はどういったところがありますか?

A 昨年3月の村長就任直後から、「変化と成長」が実感できる村づくりを強く意識しながら、自治体経営を行ってきまし

た。特に、役場庁内の雰囲気をも明るくし、職員がいきいきと業務に取り組める環境づくりを心掛けることで、「役場」を文字通り、「村民の役に立てる場所」に変えようと注力してきました。

その結果、就任から1年目で「ふるさと納税の寄付額15億円の達成」や「大相撲・南阿蘇場所の誘致」、「民間企業との連携」などを実現し、村の成長に繋げることでできました。ここまでの実績は、村民の皆さんのご理解と議会の協力、役場職員の努力の賜物です。

Q 一方で、村が抱える課題についても教えてください。

A 厳しい財政状況に、強い危機感を持っています。10年前の熊本地震復旧などの借金返済(公債費)が足かせとなり、

予算の硬直化(固定費が大半で自由に動かせない)が続いています。

新たな事業への財源確保すら厳しい現実を目の当たりにし、今こそ行財政改革に取り組みなければ、村の将来はないと決意を新たにしました。まずは、安定した財政基盤をつくること

が何よりも重要です。今年度からは、村単独での借金(起債)を前年度の7割にとどめ、重点政策に対して予算を投下する「選択と集中」を実践しています。そのうえで、村の成長に不可欠な財政強化のために、引き続きふるさと納税(個人・企業版)で財源を確保しながら、不要な歳出をカットし、行政のスリム化を目指します。

また、村内の高齢化率は約45%と上昇傾向にあります。村全体で健康づくりに取り組み、いつまでも健康で自分らしく暮らせる村を目指します。そして、住民同士が支え合い、安心して暮らせる「共助」の地域づくりを強化することも重要です。

地方が抱える高齢化や人手不足の課題解決のために、公共交

通や買物支援、民間企業や大学との連携などにも取り組んでいる最中です。この村から地方の課題を解決し、その手法を全国に発信できる「南阿蘇村モデル」の量産が目標です。

Q 最後に、村民の皆さんへメッセージをお願いします。

A 私の口ぐせは、「ピンチはチャンス」です。まずは財政難と高齢化を村の成長へのチャンスに変えるため、これからも課題としつかり向き合い、明るく前向きに自治体経営に臨んでいきます。

今後は、三村合併後も残されてきた未利用施設の解体や重複する施設の統合を進め、村に必要なものには重点投資しながら、公共施設の整理・再編を進めたいと考えています。そうしていくことで、合併の効果を形にし、将来の世代に「負債」ではなく「遺産」を引き継いでいきたいですね。

これから進める改革の先には必ず、「誰もが笑顔でいきいきと活躍できる明るい農村 南阿蘇



ナイトマーケットでは子どもたちの明るい笑顔が見えました

村」があると確信しています。具体的に、今年度で村立保育所の将来を考える「あり方検討委員会」での協議や、ふるさと納税返礼品事業者の組織化、そば生産支援金、道の駅でのナイトマーケット開催などにも取り組み、3年目に繋がります。そして来年度からは、次の10年に向けた種まきとなるような夢のある重点施策にも着手します。

この1年半で得た学びや経験は、自治体経営者としての成長の糧となりました。引き続き、南阿蘇村の「変化と成長」にご期待ください。